

(仮称) 川崎新アリーナ 〈全体概要〉

プロジェクトのポイント

- DeNAと京急電鉄が共同で建設を推進する**民設民営アリーナ**
- アリーナ周辺エリアとも連携した**アリーナシティを形成し**、京急川崎駅周辺に新たな賑わいをつくる
- アリーナを中心とした**ホテル、温浴、飲食等の複合エンターテインメント施設**とすることで顧客体験価値を最大化
- **最大15,000人規模の興行に対応し**、スポーツ興行と音楽興行の双方が利用しやすいハイブリットアリーナ

施設概要 (予定)

所在地／ 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25
 アクセス 京急川崎駅徒歩3分、JR川崎駅徒歩5分

面積 敷地 13,640㎡ 建築 12,340㎡ 延床 57,930㎡

構造 鉄骨造、16階建

収容人数 メインアリーナ：最大約15,000人

主要施設 サブアリーナ、ホテル、飲食、温浴

付帯施設 VIPルーム 有り

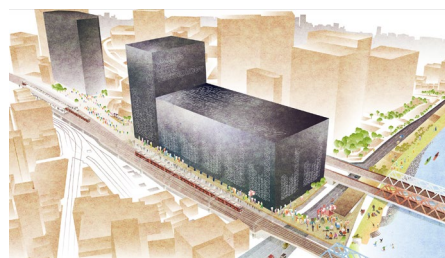
付帯施設 飲食・物販 有り

付帯施設 その他 会議室、プラザ、駐車場等

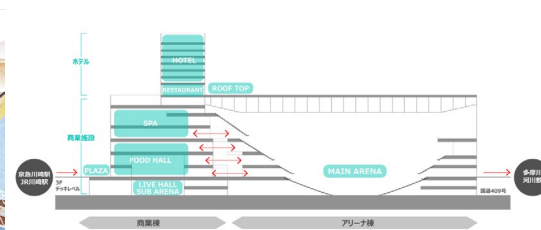
ホームチーム 川崎ブレブサンダース (B1)

スポーツ興行 • Bリーグ公式戦
 • コンサート、イベント等

施設イメージ



施設外観イメージ



施設断面構成イメージ

事業概要

事業スキーム DeNAと京急電鉄が共同開発して建物を所有し、管理運営は検討中

事業主体 DeNA、京急電鉄

所有者 土地：民間企業 ※一部DeNAと京急電鉄の共同所有あり
 建物：DeNA、京急電鉄

整備方法 DeNA、京急電鉄による建設

資金調達 DeNA、京急電鉄による民設民営事業

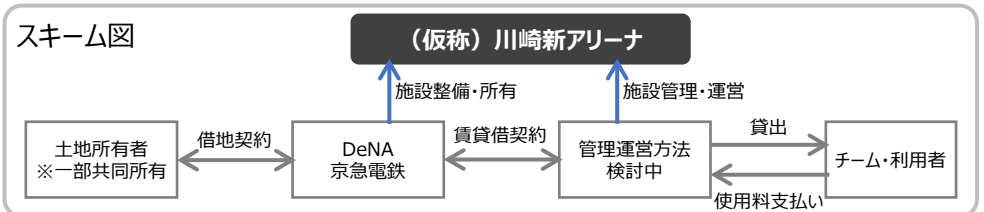
管理・運営方法 検討中

事業期間 整備：2025年～2028年（工期）約3年
 運営：2028年～

事業収支 (複合施設全体)	整備費	非公開	管理運営費	非公開
	利用料収入	非公開	総収入	非公開

行政の役割・支援 施設整備の許認可、まちづくりの助言等

スキーム図



(仮称) 川崎新アリーナ 〈参考ポイント〉

【参考ポイント①】顧客経験価値の向上

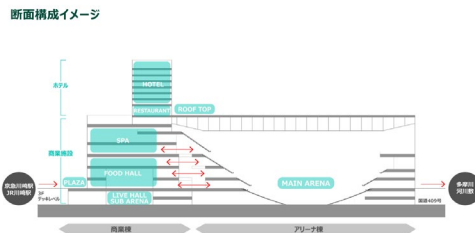
- 最大**15,000人**収容という規模でありながら「**一体感**」を重視して、座席傾斜を検討し、コートやステージとの距離を近づけている。
- アリーナと商業棟（上層階：ホテル／中低層階：温浴施設、飲食施設）が一体となった**複合エンターテインメント施設**であり、スポーツや音楽興行前後の利用による顧客経験価値の向上を計画している。



複合施設イメージ

【参考ポイント②】多様な利用方法や用途の実装

- 限られた敷地面積、特徴的な敷地形状の中で、**スポーツ興行と音楽興行の双方が利用しやすいボウルデザイン**を追求した結果、スポーツ、音楽共に12,000席以上のキャパシティを確保している。
- 様々な興行が**利用しやすいアリーナ**とするために、**設営撤去のしやすさにも着目**し、効率的に作業のできるような天井設備や舞台設備を計画している。



断面構成イメージ

【参考ポイント③】民間活力を活用した手法の採用

- DeNAがもつスポーツエンターテインメントビジネスのノウハウを生かした**民設民営アリーナ整備事業**である。
- DeNAと京急電鉄の共同でプロジェクトチームが組成されている。アリーナ単体ではなく、京急川崎駅と一体となって**アリーナシティおよび周辺エリアを含めた価値の最大化**および収益の最大化を図っている。

- 施設の保有とチームの運営を一体で担うことで、効率的かつ収益の最大化を実現できる事業構造を構築している。

アリーナプロジェクト	
施設保有	DeNA、京急電鉄
管理運営	検討中
チーム	川崎ブレブサンダース

- 地域との連携を強化**しながらアリーナ周辺エリアの賑わいをつくり、**官民連携して街全体を盛り上げる**ことを目指す。

【参考ポイント④】収益性の検証と設計等への反映

- 複合施設の事業検討においては様々な用途の組み合わせなど複数パターンの検討を行い、**アリーナシティとして最もシナジーを生み出す事業**が選定されている。
- 決して大きくない限られた敷地でありながら、多様な機能が配置され、**駅からの動線がわかりやすく周辺エリアの回遊も生み出す設計**となる。



施設イメージ (京急川崎駅側からの視点)

お問い合わせ先

川崎新アリーナ公式サイト お問い合わせフォーム :

<https://forms.gle/ic5HMyP29KboJn1y6>